

第5期芽室町総合計画前期実施計画の検証について

【1-1-1 担い手育成と農業の応援団づくり】

施策の課題認識と方向性は概ね正しい。

<出された意見>

- ・強風による農地荒廃を防ぐため「耕地防風林造成支援対策」を強化すべき
→「耕地防風林造成支援対策」として後期計画でも取り組みが必要
- ・農業者の配偶者対策を強化
- ・農業における男女共同参画の意識醸成の取り組み推進が足りていない
→「担い手の育成」として後期計画でも取り組みが必要

【1-1-2 農業生産性の向上と経営基盤支援】

施策の課題認識と方向性は概ね正しい。

<出された意見>

なし

【1-1-3 農地・土地改良施設等の整備・充実】

施策の課題認識と方向性は概ね正しい。

<出された意見>

なし

【1-1-4 地域林業の推進】

施策の課題認識と方向性は概ね正しい。

<出された意見>

なし

【1-2-1 地域内循環の推進と商工業の振興】

施策の課題認識と方向性は概ね正しい。

<出された意見>

・「中小企業・小規模事業者に対する支援」を強化すべき

→「中小企業・小規模事業者に対する支援」として後期計画でも取り組みが必要

・「町民が集う場所の創出による中心市街地のにぎわい再生」において、まちなか再生構想を強化する。今後の展開、会議の進め方など難しい。意見をまとめるリーダーの育成も必要

→「まちなか再生」として後期計画でも取り組みが必要

・起業支援にあたっては、地域内で消費されるものを地域内で作る地消地産の取り組みも必要

【1-2-2 地域資源を活用した観光の振興】

施策の課題認識と方向性は概ね正しい。

<出された意見>

・新嵐山スカイパークへの大規模投資計画を持つべきではない

・「芽室町観光物産協会に対する支援」を強化し、観光・物産振興を進める

→「芽室町観光物産協会に対する支援」として後期計画でも取り組みが必要

・DMO 設立の取り組み(観光関連団体・民間事業者などと設立準備)強化

→展望計画から発展させ、後期計画で取り組みが必要

・新嵐山スカイパークは管内的にも自然に恵まれ重要な財産である。町民にとって自慢できる誇ることでできる新嵐山スカイパークを目指して改革することは、当然大切であるが、町民の目線からどう見えているのか検証を進める必要がある。今後の改革手法が問われている。今後のスケジュールにおいては「立ち止まり」も必要。改革の方向性が、町民から離れない改革であるべき。

→「新嵐山スカイパークの基本方針」として後期計画でも取り組みが必要

・住民理解を深めるためには、さらなる対話の深化が求められる。

【2-1-1 学校教育の充実】

施策の課題認識と方向性は概ね正しい。

<出された意見>

- ・GIGAスクール構想の進展によりICT環境が大きく前進した。
- ・ICT導入による学力向上はしっかりみていく必要がある。また機器の更新計画も確認が必要。
- ・ICTについて健康面での不安があるため、保護者と学校との相談体制構築や専門家の話を聞く場があってもよい。
- ・国の方針の中、大きく進められたと思う。さらに充実させることが必要。
→「ソフト面も含めて学校のICT環境の整備」として後期計画でも取り組みが必要
- ・不登校支援システムによる児童生徒への学習支援体制が確立したことは意義がある。
- ・不登校の増加に対する取り組み強化が必要。
- ・不登校児童・生徒が増加傾向にあるため、支援システムがどのように機能していくのか注視が必要。
→「規範意識や思いやりの心など豊かな心の育成」として後期計画でも取り組みが必要
- ・成果指標③「朝食を毎日食べている」とするべきか疑問(朝食が大事なことはわかるが、家庭環境の問題が大きいのではないか)
- ・外部評価意見を参考に後期実施計画に受け込ませる。

【2-1-2 社会教育の充実】

施策の課題認識と方向性は概ね正しい。

<出された意見>

- ・CSは実績の積み重ねがしっかりできておりコーディネーターやボランティアと学校との関係が子どもだけでなく教員へもよい影響を与えている。CSのPRより実績を積み重ね町民理解を深めてほしい。
- ・CSの推進という意味でも地域全体で教育を推進する取り組みを強化する。子ども会の取り組みなどにもつながればよい。
- ・CSについてはさらに取り組みを深化させていくことが必要。
→「地域学校協働活動の推進」として後期計画でも取り組みが必要
- ・コロナ禍ということもあり、この評価指標では評価しづらい。
- ・外部評価意見を参考に後期実施計画に受け込ませる。

【2-2-1 地域文化の振興】

施策の課題認識と方向性は概ね正しい。

<出された意見>

- ・ふるさと歴史館の活用については、後期計画にぜひ盛り込むべき。
- ・ふるさと歴史館の活用も後期計画に盛り込み、取り組みが必要。
→「ふるさと歴史館の活用促進」として後期計画でも取り組みが必要
- ・地域集会施設の再整備が進む中、地域の貴重な資料が適正に保存されることが重要。
- ・町の文化財について今一度見直し、保存や継承に向けた取り組みを進めていくべき。
→「文化財の調査・保護の推進」として後期計画でも取り組みが必要
- ・外部評価意見を参考に進める。

【2-2-2 スポーツしやすい環境づくり】

施策の課題認識と方向性は概ね正しい。

<出された意見>

- ・社会体育施設整備は多額の費用が想定される。無駄はないのか、将来展望など納得できる説明を求めたい。
- ・プール跡地利用、ソフトボール場など再整備の方向を示すべき。
- ・総合体育館周辺の再整備については、町全体の体育施設も俯瞰しながら取り組みが必要。
→「社会体育施設の再編・更新」として後期計画でも取り組みが必要
- ・体育会、関係団体との連携はより強化すべき。部活動のあり方も含めて今後取り組んでいくべき。
- ・指導者不足はどこも課題であり、対策が求められている。
→「スポーツ活動における指導者不足や多様化するニーズへの対応策の検討」として後期計画でも取り組みが必要
- ・コロナの問題で進むことができない状況下で、評価できないことが多い年であった。
- ・外部評価意見を参考に強化できるよう後期実施計画に盛り込む。

【3-1-1 生涯を通じた健康づくり】

施策の課題認識と方向性は概ね正しい。

<出された意見>

- ・特定健診は自己負担額負担軽減や若年層などへの対策を着実に実施してきている。
 - ・特定健診の受診料の軽減、定額化の取り組みは評価する。受診率向上につながればと期待している。
 - ・特定健診は取り組みが進められており評価するが継続が必要。受診率向上が最終目的ではなく健康的な生活習慣と健康づくりへの意識向上にあることを忘れずに取り組むべき。
 - ・よく取り組みを進めている。
 - ・国の計画に則り、住民の福祉向上につながる計画とする。
- 「特定健診受診率向上」として後期計画でも取り組みが必要
- ・食育はそれぞれの担当事業において着実に進んでおり、全体としての役割は見直してもよい。
- 「食育の推進」として後期計画でも取り組みが必要

【3-1-2 公立芽室病院の総合的な医療体制の維持・発展】

施策の課題認識と方向性は概ね正しい。

<出された意見>

- ・コロナ感染症に伴う国や道からの補助金で経営状況は改善したが、今後は病院経営本体での経営安定化を目指していかなければならない。プランの実行が成果としてあらわれていないと思う。
 - ・コロナ後を見据えた方針の大幅な転換が必要。まずは経営の安定化と役割の明確化に注力が必要。
 - ・より住民に寄り添い、安心感のある病院となるように計画に溶け込ませる。
 - ・改革プランを立てて取り組む中でコロナ禍となり今後の地域での役割については、あらためて明確化していく必要がある。
 - ・経営的な(金銭的)ことだけでなく、地域に果たす役割、どうしたら地域に必要とされる病院になれるのかという大きな視点で取り組みを進めていくことが重要。
- 「経営の安定化」として後期計画でも取り組みが必要
- ・公立病院としてコロナ患者の受け入れは大きな地域医療への貢献と考える。この時期の病床削減はいかがかと思う。
- 「医療機能の検証」として後期計画でも取り組みが必要
- ・包括ケアシステム、今後最も必要になってくる。
- 「地域連携機能の充実」として後期計画でも取り組みが必要

【3-2-1 安心して生み育てることができる子育て支援】

施策の課題認識と方向性は概ね正しい。

<出された意見>

- ・産前産後のサポートから保健師等がかかわり、きめ細やかな支援体制が構築されている（子育て世代包括支援センター）。
 - ・病児保育も町内に整備され、子育て環境はより充実してきている。
 - ・少子化対策の大幅な投資
 - ・外部評価意見を参考に。
 - ・きめ細やかな支援体制が構築されている。さらなる拡充が必要（少子化対策含め）。
- 「安心して生み育てることができる子育て支援」の内容は後期計画でも取り組みを継続

【3-2-2 子育て環境の充実】

施策の課題認識と方向性は概ね正しい。

<出された意見>

- ・R5に向けて子どもセンターの民間委託が進められる。人材確保が課題であり、民間委託により安定的に専門的にサービスを提供できることはよい。
- 「子どもセンターなどの安定的な運営」は達成されている
- ・保育事業の事故再発防止を大きく掲げるべき。
 - ・再発事故防止に向けた全町的な情報共有と対策が必要。
- 「安心して子どもを預けられる体制の確立」として後期計画での取り組みが必要
- ・外部評価意見を参考に後期実施計画に受け込ませる。

【3-3-1 地域で支え合う福祉社会の実現】

施策の課題認識と方向性は概ね正しい。

<出された意見>

- ・高齢化の進展により地域で支え合いの必要度が増しているが、コロナ禍で思うように活動も進まなかったと考える。現状の取り組みを進めてほしい。
- ・町内会活動の低下とも大きく連動。相当なてこ入れが必要。
- ・町内会役員、民生委員のなり手不足にもあるように地域での関係性の希薄化が進んでいる。取組み強化が必要。

→「地域福祉を推進する体制づくり」として後期計画でも取り組みが必要

- ・外部評価意見を踏まえつつ、施策に係る取組みが発展できるよう計画する。

【3-3-2 高齢者福祉の充実】

施策の課題認識と方向性は概ね正しい。

<出された意見>

- ・第8期から介護予防施策の充実がはかられている。
- ・年齢にかかわらずなく、高齢者が孤立しない取り組みは必要であり、施策の方向はよい。
- ・高齢者の活躍の場をつくる(働く場所含む)

→「高齢者の活躍と社会参加の推進」として後期計画でも取り組みが必要

- ・地域包括支援センターの外部委託によって、行政が全体を俯瞰して医療と福祉をつなぎ、地域包括支援システムの構築に向けて主体的に取り組むことが必要。

→「医療・介護の連携の推進、介護サービス基盤の整備等」として後期計画でも取り組みが必要

- ・外部評価意見を参考に進める。

【3-3-3 障がい者の自立支援と社会参加の促進】

施策の課題認識と方向性は概ね正しい。

<出された意見>

- ・職場実習が委託事業へとつながる事例もあり、就労の場は拡大している。また通勤支援体制の構築も具体化している。
- ・グループホームなどは需要に対して供給が足りていない。民間活用の拡大。
- ・施策に係る取組みが発展できるよう計画する。
- ・生活体験住宅、グループホームなど整備は進んできている。就労支援だけでなく、住まい、生活支援についても取り組みを進めていく必要がある。
- ・少しずつ進められている。今後も全体のバランスのもと進めてほしい。

→「障がい者の自立支援と社会参加の促進」の内容は後期計画でも取り組みを継続

【3-4-1 互いに認め合う地域社会の形成】

施策の課題認識と方向性は概ね正しい。

<出された意見>

- ・コロナ禍で予定した事業が実施できず、意識啓発は限定的な活動となった。
- ・3-3-2と連動する。高齢者の権利という考え方よりも、より活躍できる場をつくるという方向で考えるべき。
- ・成年後見制度については今後ニーズが高まっていくことが考えられるため取り組みを進めていくことが必要。
- 「子ども、配偶者、障がい者、高齢者などの権利擁護」として後期計画でも取り組みが必要
- ・外部評価意見を参考に評価できるよう後期実施計画に盛り込む。

【4-1-1 災害に強いまちづくりの推進】

施策の課題認識と方向性は概ね正しい。

<出された意見>

・防災意識の啓発、推進と防災教育の実施については維持している。要配慮者台帳整備については前進と考える。福祉避難所の機能確保、受入れ対象者の特定、人的物的体制の整備を図り、要配慮者の支援強化が必要である。

→「防災対策事業の推進」として後期計画でも取り組みが必要

【4-1-2 消防・救急の充実】

施策の課題認識と方向性は概ね正しい。

<出された意見>

なし

【4-1-3 防犯対策と交通安全の推進】

施策の課題認識と方向性は概ね正しい。

<出された意見>

・児童・生徒に対する交通安全対策については、専従交通指導員による街頭指導により確保されている。指導員の確保と交通安全対策の維持、継続が必要である。

→「交通安全指導・啓発事業の推進」として後期計画でも取り組みが必要

【4-1-4 消費者の安全・安心の確保】

施策の課題認識と方向性は概ね正しい。

<出された意見>

・消費者を取り巻く環境は大きく変化し、食の安全・安心確保は大変重要である。消費者協会、食品衛生協会などの啓発は前進と考え評価したい。今後も団体と連携し、消費者の生活相談、食の安全・安心を維持するための活動が重要

→「消費者の安全・安心の確保」の内容は後期計画でも取り組みを継続

【4-2-1 有効な土地利用の推進】

施策の課題認識と方向性は概ね正しい。

<出された意見>

なし

【4-2-2 快適な住環境の整備】

施策の課題認識と方向性は概ね正しい。

<出された意見>

なし

【4-2-3 道路交通環境の整備】

施策の課題認識と方向性は概ね正しい。

<出された意見>

なし

【4-3-1 景観の保全とクリーンエネルギーの推進】

施策の課題認識と方向性は概ね正しい。

<出された意見>

・「統一した公共サインの整備により、町の景観を維持」を強化し、町のイメージ向上を進める

→「公共サインの整備」として後期計画でも取り組みが必要

【4-3-2 廃棄物の抑制と適正な処理】

施策の課題認識と方向性は概ね正しい。

<出された意見>

・色付きゴミ袋を導入している経緯など、これまで本町が取り組んできた歴史を町民に理解してもらう取り組みが必要。

→「新中間処理施設の供用開始に向けて、住民による排出、町の収集運搬、処理方法などの構築」として後期計画での検討が必要

【4-3-3 上下水道の整備】

施策の課題認識と方向性は概ね正しい。

<出された意見>

なし

【5-1-1 徹底した情報共有と町民参加の促進】

施策の課題認識と方向性は概ね正しい。

<出された意見>

- ・町民ファシリテーター育成など、多くの町民が自分事として町政に関心を持ってもらえる取り組みのさらなる推進を
- 「多様な町民対話の機会確保による町民参加の推進」として後期計画でも取り組みが必要

【5-1-2 住民自治の実現と地域の活力の維持】

施策の課題認識と方向性は概ね正しい。

<出された意見>

- ・「移住・定住の促進」では、空き家を活用したお試し住宅を検討すべき
- 「移住・定住の促進」として後期計画でも取り組みが必要
- 「まちなか再生」などとして空き家対策は後期計画で取り組みが必要

【5-1-3 国際・地域間交流の推進】

施策の課題認識と方向性は概ね正しい。

<出された意見>

なし

【5-2-1 効果的・効率的な行政運営】

施策の課題認識と方向性は概ね正しい。

<出された意見>

- ・本町独自の自治体 DX 推進計画を策定し、地域のデジタル化推進に取り組むことが必要
→「庁内コンピュータ維持管理」として後期計画でも取り組みが必要

【5-2-2 健全な財政運営】

施策の課題認識と方向性は概ね正しい。

<出された意見>

なし

【5-2-3 親切・便利な行政サービスの推進】

施策の課題認識と方向性は概ね正しい。

<出された意見>

- ・職員教育の充実(ちょっとした手抜きがある)
→「便利で親切な窓口サービスの推進」として後期計画でも取り組みが必要
- ・「電子自治体化の推進」では、窓口での書類記載不要のサービス(北見市)、住民票等のコンビニ発行など、サービス強化の観点が必要
→「ICT 技術の進展を踏まえた電子自治体化の推進」として後期計画でも取り組みが必要
- ・庁舎が、町民(子ども)にとって安心できる居場所となるような活用方法検討は引き続き継続する